

# 5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第2時(9時間取り扱い)

平行四辺形の面積の公式を作る見通しを持つことができる

## 本時の授業の概要

前時の学習をもとに、平行四辺形の面積を求める公式を作る。長方形に等積変形した図をもとに立式したそれぞれの数値が、平行四辺形のどの部分になるのかを捉えさせ公式を作る。さらに公式を活用し面積を求められるようになることをめざす

## 本時の目標

平行四辺形の求積の公式を理解しそれを適用して面積を求めることができる。

## 活用場面

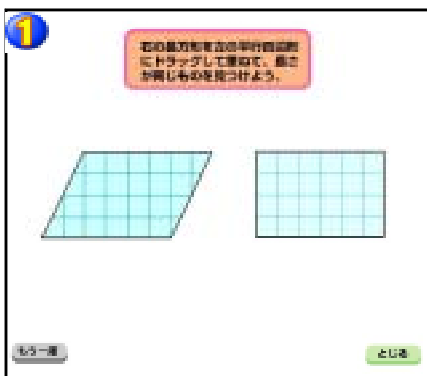
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟

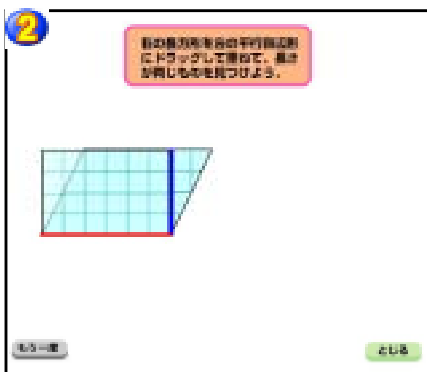


平行四辺形の面積を求めるときは、どこの長さが必要なのかを確認する。

① T：平行四辺形の面積を求めるには、長方形のどこの長さが分かればよいでしょうか。

C：(実際にさしながら)ここ(底辺)とここ(高さ)  
T：平行四辺形の面積を求めるには、2つの長さがわかる必要があります。  
T：この2つを、底辺と高さといいます。  
T：この2つの言葉を使って式を作りましょう。

長方形の面積を求める公式をもとに、平行四辺形の面積の公式を作る



② T：二つの図形を重ねてみましょう。長方形の面積を求める公式をヒントに、平行四辺形の面積を求める公式を作りましょう。

C：長方形の面積=たて×横だった  
C：同じように公式を作ることができそうだ。  
T：言葉の式に表して公式を作ってみましょう。

## 【ワンポイントアドバイス】

コンテンツをホワイトボード等に映し、マーカーで縦や横の長さを示し、視覚的に理解できるようにしたい。

②は全員に見せるのではなく、解決の見通しをもてない児童や、あまった考え方をしている児童に、ヒントとして見せることも有効である。

## 【サイト情報】

[http://www.kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/p88\\_02.html](http://www.kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/p88_02.html)

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)